

2015年度第4回日本バレーボール学会理事会

1. 日時：2016年1月9日（土）13：00～
2. 場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス スポーツ棟（体育研究所）2階 会議室
3. 出席者予定者：河合学会長，黒川貞生副会長，石手靖理事長，内田和寿，杉山仁志，高根信吾，田中博史，鳥羽賢二，湯澤芳貴，横矢勇一各理事
出席：10名 欠席：20名（内連絡無1名） 委任状：19名
4. 報告：
 - ① 各委員会関係
 - （1）編集委員会
 - （2）企画委員会
 - （3）渉外委員会
 - （4）総務委員会
 - ② その他
5. 議題
 - ① 第21回大会準備進捗状況について（実行委員長）
 - ② 2016バレーボールミーティング準備進捗状況について（実行委員長）
 - ③ 2015年度事業報告（案）について（理事長）
 - ④ 2015年会計報告（案）について（総務委員会会計担当）
 - ⑤ 2016年度事業計画（案）について（理事長）
 - ⑥ 2016年予算（案）について（総務委員会会計担当）
 - ⑦ 2016年度調査研究費応募状況について（総務委員会）
 - ⑧ 「バレーボールの歴史」（仮称）出版の進捗状況について（会長）
 - ⑨ 第20回大会一般研究発表者年会費未払いへの対応について（事務局）
 - ⑩ その他

2016年 バレーボールミーティング (案)

2016年1月9日

京都光華女子大学 内田和寿

テーマ バレーボール活動を通じた国際交流 ～大学の現状と今後の展望～

キーワード：国際交流・バレーボール・大学

会期：2016年8月6日（土）

会場：京都外国語大学

趣旨：本ミーティングは、大学におけるバレーボール活動を取り入れた国際交流事業の展開について情報交換を行い、学生がグローバルな視点を持ち、語学とスポーツへの興味関心を高めるツールとしてのバレーボール活動について検討していくことを目的とする。

<実行委員会>

実行委員長：内田和寿（京都光華女子大学）

実行副委員長：吉田清司（専修大学）

実行委員：中嶋大輔（京都外国語大学：会場）、鳥羽賢二（びわこ成蹊スポーツ大学：渉外）

吉田康成（四天王寺大学：記録）、野口将秀（京都大学大学院：会場）、城成人（堺市立宮山台小学校：記録）、山中愛美（プール学院大学：受付）

日程：

9:30～10:00 受付

10:00～10:10 開会 司会：吉田清司（専修大学）

挨拶：河合学（日本バレーボール学会会長） もう1人 どなたか（京都外大）

10:10～10:55 オクム氏講演 進行：吉田清司（専修大学）

「バレーボール指導におけるグローバルな視点の必要性（仮）

休憩・セットチェンジ

11:00～12:00

京都外国語大学学生：ネパールでのボランティア活動

内田和寿：京都光華女子大学のスポーツツーリズム

学会から1人指名？：大学の活動事例がある方（いなければ削除）

12:00～12:30 質疑応答および3人（4人）でのディスカッション

12:30～13:30 休憩

13:30～15:30 オンコートレクチャー

「英語によるバレーボール指導（仮）」

進行：内田和寿（京都光華女子大学）

講師：オクム氏（ケニア女子代表チームコーチ、博多女子高等学校コーチ）

アシスタント：京都外国語大学学生

モデルチーム：山城高等学校女子バレーボール部

15:30～15:40 閉会

挨拶：黒川貞生（日本バレーボール学会副会長）

16:00～17:30 情報交換会（広い教室をアレンジした立食スタイル）お酒は出さない予定です。

資料 2-1

2015 年度事業報告 (案)

1. 第 21 回記念大会の開催

▽期日：2016 年 3 月 19 日 (土)・20 日 (日)

▽場所：明治学院大学 白金キャンパス

▽テーマ：「セッターに求められるスキルと戦術」

▽内容：

- ・特別講演 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」
講師 水野正人 (元東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致委員会 CEO, ミズノ株式会社 会長)
- ・シンポジウム 「セッターに求められるスキルと戦術」
シンポジスト
中田 久美 (オリンピック, 久光スプリングス監督)
朝長 孝介 (オリンピック, 大村工業高等学校教諭・バレーボール部監督)
海川 博文 (駿台学園中学校教諭・バレーボール部監督)
宇賀田真一 (元杉並第一小学校教諭・東京杉ークラブ監督)
- ・フォーラム 「バレーボールにおけるセットについて」
 - ①セット技術・戦術の変遷 (吉田清司：専修大学)
 - ②セットのバイオメカニクス (縄田亮太：愛知教育大学)
 - ③ブロックにおけるスポーツ外傷・傷害とその対応・予防
(橋本吉登：三ツ境整形外科), 板倉尚子：日本女子体育大学)
- ・オンコートレクチャー 「セッターのコーチング ～スキルと戦術～」
朝長 孝介 (オリンピック, 大村工業高等学校教諭・バレーボール部監督)
海川 博文 (駿台学園中学校教諭・バレーボール部監督)
宇賀田真一 (元杉並第一小学校教諭・東京杉ークラブ監督)
北沢 浩 (元富士通川崎レッドスピリッツ・
明治学院大学バレーボール部コーチ)
- ・一般研究発表 ポスターセッション ○○件
- ・参加者 約○○○名
- ・第 21 回総会

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日：2015 年 8 月 8 日 (土)

▽場所：紫波町情報交流館・オガールベース

▽内容：

- ・講演① 「アウルズ紫波スポーツアカデミーの役割と可能性」
講師 綱島久子 (NPO 法人アウルズ紫波スポーツアカデミー)
- ・講演② 「地域創生とスポーツ」
講師 岡崎正信 (オガールベース株式会社代表取締役)
- ・シンポジウム 「地域から日本のバレーボールを変える ～オガールベースの挑戦～」
シンポジスト 岡崎正信 (オガールベース株式会社代表取締役)

日本バレーボール学会 第21回総会資料

綱島久子 (NPO 法人アウルズ紫波スポーツアカデミー)

進行 吉田清司 (専修大学)

・オンコートレクチャー 「リーダーの育成を目的としたジュニア指導」

講師 綱島久子 (NPO 法人アウルズ紫波スポーツアカデミー)

解説 岡崎正信 (オガールベース株式会社代表取締役)

・参加者：約60名

3. 「バレーボール研究」の発刊および発刊準備、「ニュースレター」の発行

▽2015年06月30日付 バレーボール研究17巻1号発刊

原著論文2編, 研究資料4編, 指導実践報告1編

▽2016年05月01日付 バレーボール研究18巻1号の発刊準備中

▽2015年11月28日付 ニュースレターNO. 22発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

・日本バレーボール学会ホームページ上で会員のみ公開中 (要ID・パスワード)

(データ件数2,957件 2011-2015新規データ新規登録136)

一部の不整備データ修正600件

データベース・フォーマット一部改訂

▽調査研究補助

・バレーボールにおける特徴点を利用した3次元動作解析方法の開発

研究代表者：村本名史

5. 諸会議の開催

▽理事会

・第1回：2015年03月07日 早稲田大学 早稲田キャンパス

・第2回：2015年08月08日 紫波町情報交流館・オガールベース

・第3回：2015年11月15日 慶應義塾大学 日吉キャンパス

・第4回：2015年01月09日 慶應義塾大学 日吉キャンパス

・第5回：2016年03月19日 明治学院大学 白金キャンパス

▽総会

・第21回：2016年03月20日 明治学院大学 白金キャンパス

6. その他諸事業の実施

▽役員の変更

▽20周年記念事業「バレーボールクロニクル」の出版

▽JVA指導者教本 改訂版(仮称)出版

▽公式サイト等の運用と整備 (<http://www.jsvr.org>)

▽日本学術会議との連携

▽日本バレーボール協会との連携

2015年（2015年1月～12月）決算報告（案）

1. 収入の部

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
繰越金	2,360,576	2,360,576	2014年より繰り越し
会費	1,500,000	1,686,396	@5,000×288名分(過年度分を含む) 学生会員@3,000×11名分(過年度分を含む) (UC手数料 -17,604)
大会余剰金	0	3,372	第20回学会大会：2,853 2015バレーボールミーティング：519
広告費	200,000	0	機関誌広告費
雑収入	1,000	354	預金利息
その他	0	0	
2015小計	1,701,000	1,690,122	
合計	4,061,576	4,050,698	

2. 支出の部

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	500,000	410,027	諸会議経費・理事会主要役員会交通費補助
事務費	600,000	232,725	会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、web運営費、HP管理費（業者委託）、選挙管理費
通信費	200,000	82,124	郵送費、宅急便代等
大会補助費	600,000	600,000	2015バレーボールミーティング：200,000 第20回大会：400,000
印刷費	150,000	46,800	学会封筒(角2・長3)
機関誌発行費	750,000	744,552	バレーボール研究17巻1号 ニュースレター22号
委員会経費	350,000	238,219	編集委員会203,219・渉外委員会0 企画委員会15,000・総務委員会0・文献データ ベース作成事業20,000
調査研究費	600,000	150,000	調査研究補助150,000 歴史本プロジェクト0
予備費	300,000	0	香典・弔電等慶弔費
2015小計	4,050,000	2,504,447	
次年度繰越金	11,576	1,546,251	
合計	4,061,576	4,050,698	

以上御報告申し上げます。

2016年3月20日
日本バレーボール学会
総務委員会
委員長 田中 博史 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。

2016年3月20日
日本バレーボール学会
監事 柏森 康雄 印略
廣 紀江 印略

2014年度 決算報告

1. 収入の部

(円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会費	1,500,000	1,756,748	@5,000×352名分 (過年度分を含む) 学生会員@3,000×5名分 (UC手数料-18252)
大会余剰金	0	83,833	第19回学会大会: 81,891 第1回バレーボール ミーティング: 1,942
広告費	200,000	0	
繰越金	2,773,187	2,773,187	2013年度より繰り越し
雑収入	1,000	13,516	預金利息・機関誌頒布
その他	0	100,000	研究補助費返還金100,000
合計	4,474,187	4,727,284	

2. 支出の部

(円)

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	500,000	253,000	会議お茶代・理事会交 通費補助
事務費	600,000	247,516	会費銀行振替関連経費、 振込手数料、事務用品、 webリニューアル・ web運営費等・選挙管理費
通信費	200,000	162,856	宅急便・メール便(選挙関連送付を含む)
大会補助費	600,000	600,000	第1回バレーボール ミーティング: 200,000 第20回大会: 400,000
学会封筒	150,000	56,160	学会封筒(角2・長3)
機関誌発行費	650,000	711,752	バレーボール研究16巻1号 ニュースレター21号
委員会経費	350,000	185,424	編集委員会169,370・渉 外委員会0・企画委員会 16,054・総務委員会0
調査研究費	600,000	150,000	調査研究補助 150,000 歴史本プロジェクト0
予備費	500,000	0	香典・弔電等慶弔費
次年度繰越金	324,187	2,360,576	
合計	4,474,187	4,727,284	

以上御報告申し上げます。

2015年3月7日

日本バレーボール学会
総務委員会
委員長 田中博史 印略

証拠書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。

2015年3月7日

日本バレーボール学会
監事 島津大宣 印略
藤島みち 印略

2015年度 事業計画

1. 第21回大会の開催

▽期日: 2016年3月上旬

▽場所: 明治学院大学

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日: 2015年8月8日(土)

▽場所: 紫波町情報交流館、

オガールベース(岩手県紫波町)

▽テーマ: 「地域から日本のバレーボールを変える

～オガールベースの挑戦～」

3. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の発行準備

▽バレーボール研究17巻の発刊と18巻発刊準備

▽ニュースレターNo.22号の発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

▽調査研究補助

▽バレーボール歴史本(仮称)の出版

▽JVA指導教本(仮称)の出版協力

5. 会員情報の管理と名簿の整備(会員名簿は隔年で機関誌に掲載)

6. 公式サイトの管理・運営

7. 国際交流事業の推進

8. 諸会議の開催

9. 日本バレーボール協会との連携

10. その他諸事業の実施

▽日本学術連合との連携

▽日本コーチング学会との連携

2016年度事業計画（案）

1. 第22回大会の開催

▽期日：2017年3月上旬（土・日）

▽場所：未定

所在地：未定

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日：2016年8月中旬

▽場所：京都外国語大学

▽テーマ：「バレーボール活動を通じた国際交流 ～大学の現状と今後の展望～」

3. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の発行準備

▽バレーボール研究18巻の発刊と19巻発刊準備

▽ニュースレターNo. 23号の発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

▽調査研究補助

5. 会員情報の管理と名簿の整備（会員名簿は隔年で機関誌に掲載）

6. 公式サイトの管理・運営

7. 国際交流事業の推進

8. 諸会議の開催

9. 日本バレーボール協会との連携

10. その他諸事業の実施

▽日本学術連合との連携

▽日本コーチング学会との連携

~~▽ファーストテンポ（及びスロット）の概念の明確化~~

2016年（2016年1月～12月）収支予算(案)

1. 収入の部

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
繰越金	2,360,576	1,546,251	2015年度より繰り越し
会費	1,500,000	1,500,000	@5,000×300名分(概数)
広告費	200,000	200,000	機関誌広告費
大会余剰金		0	
雑収入	1,000	1,000	預金利息・機関誌頒布
2016小計	1,701,000	1,701,000	
合計	4,061,576	3,247,251	

2. 支出の部

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会議費	500,000	500,000	諸会議経費、理事会・主要役員会交通費補助
事務費	600,000	300,000	会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、web運営費・管理費(業者委託)
通信費	200,000	150,000	郵送費、宅急便代等
大会費	600,000	600,000	大会、バレーボールミーティング等の開催経費(大会400,000・バレーボールミーティング200,000)
印刷費	150,000	100,000	学会封筒・資料等の印刷費
機関誌発行費	750,000	750,000	「バレーボール研究18巻1号」発刊・ニュースレター発行
委員会経費	350,000	310,000	総務・渉外:各30,000、企画50,000、編集180,000、文献データベース作成事業20,000
調査研究費	600,000	300,000	調査研究補助費、プロジェクト研究補助費
予備費	300,000	200,000	国際会議準備費等
2016小計	4,050,000	3,210,000	
次年度繰越金	11,576	37,251	
合計	4,061,576	3,247,251	